

# トップセイ

## 夏空の下

沖縄港運株式会社

代表取締役社長 島 袋 完 徹



夏空の下、自転車のペダルを思いっきり踏みしめた！ 高鳴る鼓動と共に自転車のタイヤが勢いよく回りだした。 東京駒込を出発した自転車は一路、国道一号線を南へ、側を走る車と並んでひたむきにタイヤを回し続けている。 大学二年の時、アルバイトで貯めたお金で遠距離走行用の自転車を買って、その夏休みに東京から鹿児島まで自転車で行く事を決めた。

最後まで行けるかどうか、行つたこと見たとの無い多くの所、不安と期待を持ちながら相棒となる自転車と行けどここまで行くことにした。 午前中に東京駒込を出発し、まずは従兄の住む神奈川県西鎌倉を目指して一路南へ走る。夕方従兄の家に着いた。従兄の家族に歓待しても

自転車は和らいで次第に居心地良くなりつい寝入ってしまった。 程よく疲れも取れ、大阪の街を周遊し一路南を目指して自転車は進んでいく。

岡山、広島を超えて山口県に入つた。 一面に広がる緑の草原、点在する白い石灰岩、炎天で温もった体に吹き付ける風が心地いい。秋吉台は数億年前に海底のサンゴ礁が隆起して形成された台地である。

この台地の下に眠る秋芳洞日本一大きさを誇る洞窟である。自転車はさらに南へ！ この閑門トンネルを抜けば九州だ！トンネルの先には明るい光が見えてきた。“やつた九州だ”トンネルを抜け出て見上げる夏空は眩しい。

門司から鹿児島まで続く国道三号線の旅で初めて見る両手に力が入る。目標は近い！

国道を走り続け夕方久留米市に泊まる。この旅で初めての旅館泊、殆どユースホステル泊か野宿であった。女将が“ええつ東京から”息子も今九州一周自転車旅行に行つてゐるよ”洗濯物あつた

いでのいた。

その後富士山の雄姿をあちらこちらから眺めつつ、目前に広がる樹海、深緑の木々の間より吹きあたる涼風が一層ペダルをリズム良く踏ませてくれる。

山中湖、河口湖、西湖、精進湖、本栖湖、それぞれの湖面に映える富士山の絶景！思わずハンドルを握る両手に力が入る。 国道を軽快に走つて行く。 目の前に青い大きな海が広がつてきた。

ここは三保の松原。何処までも続く海辺の松林の上に、さらに高くそびえる富士山、松林の緑と打ち寄せる白波と海の青さが織りなす風景はまるで絵画のようである。

名古屋を通り抜け見えて来た湖！琵琶湖の畔を通り抜け京都に入る。縦に横に大きな通りが幾つも重なり、通りの側に姿を見せる神社仏閣！のどかさ漂う河原、風情ある幾つの橋、街中の風情も他の地方とは全然違う。

西本願寺の境内に入ると、広さと構造物の凄さを感じる。阿弥陀堂の中に入つて縁

に座ると涼しくて火照つた体が和らいで次第に居心地良くなりつい寝入ってしまった。

程よく疲れも取れ、大阪の街を周遊し一路南を目指して自転車は進んでいく。

岡山、広島を超えて山口県に入つた。

一面に広がる緑の草原、点在する白い石灰岩、炎天で温もった体に吹き付ける風が心地いい。秋吉台は数億年前に海底のサンゴ礁が隆起して形成された台地である。

この台地の下に眠る秋芳洞日本一大きさを誇る洞窟である。自転車はさらに南へ！

この閑門トンネルを抜けば九州だ！トンネルの先には明るい光が見えてきた。“やつた九州だ”トンネルを抜け出て見上げる夏空は眩しい。

門司から鹿児島まで続く国道三号線の旅で初めて見る両手に力が入る。目標は近い！

国道を走り続け夕方久留米市に泊まる。この旅で初めての旅館泊、殆どユースホステル泊か野宿であった。女将が“ええつ東京から”息子も今九州一周自転車旅行に行つてゐるよ”洗濯物あつた

ら洗つてあげるから”御礼だけ言い洗濯機を貸してもらう事にした。翌朝大きく深呼吸をすると同時にペダルを強く踏み込んだ。

有明海に浮かぶ雲仙岳、八代海に浮かぶ天草の島々、夏の太陽が海の青さを一層ひきたてている。

熊本の日奈久を過ぎた辺りから急な登り下りが延々と続いている。とにかく頑張れ！自分に鞭打ち前へ前へ相棒と一緒に突き進んだ。水俣を通つて目の前に見えてきたのが鹿児島だ！公園の頂上を目指して軽やかに登つて行く！見えた！ 桜島だ！錦江湾に浮かぶ雄大な桜島！東京を出発して十九日、目標した鹿児島にやつと着いた！吹き上げる噴煙が私たてている。

自転車は下り坂を颪爽と走つて行く！

この自転車旅行は四十七年前の私の体験談である。

そしてこの体験は今でも自分が行き詰った時、自分に工具を送つてくれている。

皆さんも色々な事に挑戦してみては！

の弹む声に、おじさんちの家の縁側で休む。冷たい飲み物と御菓子を頂き再出発する。田舎の知らないおじさんの道を走つていると、汗がタオルも役に立たない程に滴り落ちて来る。サドルと接する尻が痛い！暫くは痛みは続くかもと思い、夏木立の下で休息することにした。“お兄さん何處から来たの！こっちへ来て休んで！”知らないおじさん

らしい、翌朝南へ向け勢いよく自転車のペダルを回し続ける。

炎天下、静岡の田舎び田舎を走つていると、汗がタオルも役に立たない程に滴り落ちて来る。サドルと接する尻が痛い！暫くは痛みは続くかもと思い、夏木立の下で休息することにした。“お兄さん何處から来たの！こっちへ来て休んで！”知らないおじさん

の旅で初めての旅館泊、殆どユースホステル泊か野宿であった。女将が“ええつ東京から”息子も今九州一周自転車旅行に行つてゐるよ”洗濯物あつた

（当時の写真）

の旅で初めての旅館泊、殆どユースホステル泊か野宿であった。女将が“ええつ東京から”息子も今九州一周自転車旅行に行つてゐるよ”洗濯物あつた

（当時の写真）

の旅で初めての旅館泊、殆どユースホステル泊か野宿であった。女将が“ええつ東京から”息子も今九州一周自転車旅行に行つてゐるよ”洗濯物あつた



検査機関担当者による説明



検査の様子

八月十二日（木）、新型コロナウイルス感染防止策として、乗船前の海上職員七名に対し、検査機関担当者を招いた鼻腔スワブ検体によるPCR検査を実施しました。今後、当検査を乗船前の海上職員に対して継続して実施していきます。鼻腔スワブ検体は鼻腔頭スワブ検体とは異な

り、安全かつ容易に、短時間での撮取が可能な検査方法です。現在、各船機長および乗組員の皆様は、検査後から乗船前の外出自粛並びに乗船中の船外外出の禁止という厳しい環境の中、沖縄の物流を支えるため尽力しています。

RKK Group News

## 新規乗船者（海上職員乗下船交代前）のPCR検査を実施



着々と工事が進んでいます。



RKK博多港総合物流センター建設地

RKK Group News

## 建造現場をウォッチ！

二〇二一年度の完成を予定しているRKK博多港総合物流センターの建造工事の様子を、上空からウォッチしてみました！

七月時点の段階で、基礎部分の建設作業が行われている様子です。上空からの写真だと、着々と大規模な工事が進んでいるのが分かりますね。

引き続き工事の進捗状況をお伝えしていきますので、お楽しみに！

5月1日（金）琉球海運グループ戦略室のもとにRLCプロジェクトチームが発足しました。

2022年夏に豊見城市長堂にて県内最大級の2階層の施設となる琉球ロジスティクスセンター（仮称）が完成予定です。1階は、中核企業として県内大手小売業のイオン琉球株式会社が、2階には関連するメーカーや卸業者が入居し、商流と物流を分離させる県内初の流通スキームを実現させることになります。これにより物流の効率化が図れ、従来の課題である倉庫の狭小化およびドライバーや作業者不足の解消に繋がる効率的な物流センターとして期待されています。

プロジェクトチームでは、センターの円滑な運用に向けた事業計画はもとより、上述した当該物流センターの付加価値を活かし海上輸送のさらなる拡大に向けて取り組んで参ります。



RLCプロジェクトチーム（手前左：源河チームリーダー 手前右：島袋課長）

## 沖縄荷役サービス(株)

## 事業安全祈願祭 & 功労・功績・優秀作業員表彰式

6月27日（土）那覇新港4号上屋にて「2020年度事業安全祈願祭・安全衛生大会」を開催しました。弊社役職員一同で作業の安全を祈願し、その後の安全衛生大会では日頃の安全活動報告、ゼロ災害を誓う宣言がなされ、我社の理念にもある「何よりも安全を優先に」を共有・再認識し、安全意識の高揚を図りました。

また、7月3日（金）には現業部部長の花城正浩が功労賞を受賞しました。今年は残念ながら新型コロナウイルス予防の為、沖縄港運協会ではなく自社での表彰式になりました。

今年度も職員一同、関係各社様と連携を取りながら、安全作業に努めて行きます。

今日も一日「ゼロ災でいこう、ヨシ！！」

### ※功労賞

長年にわたり地域の安全及び労働衛生管理活動に尽し、港湾貨物運送事業の安全及び衛生管理水準の向上発展に著しい功労があった者に対する表彰



## 第36次船起工式 & 船名決定

現在、当社は第36次船となるRORO船を建造中です。建造後、九州・先島航路に投入され、沖縄航路の船舶の中では最大級のものとなります。

### ●第36次船起工式●

7月20日（月）に、第36次船の起工式が、広島県の尾道造船株式会社にて行われました。第36次船は現在運行中の“勇王丸”的代替船で、先日の船名公募にて「あやはし」と命名されました。同船は、建造工事を経て2021年2月に竣工する予定です。

### ——第36次船命名——

#### 「あやはし」

「あやはし」は、琉球最古の歌謡集『おもろさうし』に出てくる「あやごはし」という言葉に由来しており、「美しい橋」という意味をもっています。「美しい橋」という言葉のように、沖縄と県外、世界を結ぶ架け橋となる当社の企業イメージと合致していることから命名されました。



### ●当選者コメント（東京支店主任 備瀬周さん）

この度は、栄えある新造船の命名者に選ばれ、とても光栄に思います。「あやはし」を応募したのは、なにか沖縄らしい良い言葉はないかとインターネットで検索したことがきっかけです。笑

きっかけはすごく安直ではありますが、新造船あやはしがその言葉の意味のように、沖縄と県外、世界を結ぶ琉球海運の発展の一助となるよう心より願っております。

## 「海の日」海事関係功労者表彰

7月28日(火)、沖縄かりゆしアーバンリゾート・ナハにて『令和二年「海の日」海事関係功労者表彰式典』が行われました。この表彰式は「海の恩恵に感謝するとともに、海洋国日本の繁栄を願う日」である海の日を国民に広めるために開催されております。当社からは沖縄総合事務局長表彰の優良船員部門にて二名の職員が表彰を受けました。受賞おめでとうございます。

### 優良船員

船 長 友利 文輝

甲板長 大城 芳



友利船長



大城甲板長

## 沖縄港運(株)

## 優秀作業員表彰

7月3日（金）沖縄港運本社にて、港湾貨物運送事業労働災害防止協会主催の優秀作業員表彰がありました。沖縄港運より、荷役機械運転優秀賞1名、玉掛け作業員優秀賞4名の社員が表彰されました。

荷役機械運転優秀賞……………荷役機械の有資格者であって、満10年以上無災害の者  
玉掛け作業優秀賞……………玉掛け作業の有資格者で、満15年以上無災害の者

### 荷役機械運転優秀賞

作業部作業一課 伊禮 敬裕（フォークリフト）

### 玉掛け作業優秀賞

作業部作業二課 比嘉 哲也

作業部作業一課 宮平 正人

作業部作業一課 伊森 直哉

九州先島定期航部作業課 神谷 博哉



## 八重山港運(株)

## 「安全祈願(観音堂参拝)」

6月28日(日)、新事業年度の各現場や各部署においての「無事故・無災害」、全社員の「無病息災」を祈願して、市内「観音堂」にて安全祈願を執り行いました。

今年は新型コロナウイルスによる影響の自粛により、時期の調整や規模の縮小があり、参拝は役員・管理職のみで執り行いました。

(住職を含め全員がマスク姿、間隔をあけての配置と、過去に例のない「ソーシャルディスタンス安全祈願」となりました。)

例年の様に全員参加での安全祈願ができなかったのは残念でしたが、早く日常を取り戻すべく我慢し、皆でこの状況を乗り越えたいと思います。



## 高速船“タクマ3”試乗体験

第一マリンサービスが運行する那覇・泊ふ頭一本部・渡久地港 高速船“タクマ3”に大塚課長代理と試乗しました。全長30m、定員180名、30ノット、同区間を75分で結ぶ船です。

さすがは高速船、出港後すぐ30ノットに到達します。道中は那覇国際コンテナターミナルに接岸するコンテナ船、パルコ、瀬底大橋など絶景スポットもありました。結構上下に揺れるので、揺れが好きな方はずっと楽しい時間を過ごせます。

本部ではゴールドバケルを購入しました。びっくりするくらい甘くて、芯まで食べられるおいしいパインでした。1玉1000円おすすめです！

外航課 棚原



## 7月23日は海の日です 海の月間7月1日～7月31日

7月23日は「海の日」です。これは1876年、明治天皇の東北地方巡幸の際、それまでの軍艦ではなく灯台巡視の汽船「明治丸」によって航海をし、7月20日に横浜港に帰着したことに因み、1941年に制定された「海の記念日」を起源としています。

1995年2月、国民の祝日に関する法律の一部改正が行われ、1996年から7月20日が国民の祝日「海の日」として制定されましたが、ハッピーマンデー制度により、2003年からは7月の第三月曜日が「海の日」となりました。

# AFTERNOON

## TEA TIME

### 「リトグラフ版画製作」

こんにちは、今回の記事では私が趣味でやっている版画制作をご紹介します。版画には、木版画やシルクスクリーン等様々な種類の技法がありますが、今回はリトグラフと言われる技法で実際に版画を製作しましたので方法と併せて簡単にご紹介したいと思います。

リトグラフは石版画ともいい、18世紀末にドイツで確立された版画技法です。「平版」を用いた技法で、木版画等とは異なり凹凸がない版を使用する、これまでにない技法として普及しました。リトグラフの特徴としては、筆の効果や墨流しなど描画したものがそのまま版となって紙に刷りとられ、多色刷りも可能であり、透明感のある色の重ねが美しいことが特徴です。

制作過程は大きく三つの工程に分けられ、一つ目が描版（トレース・版への描画）、二つ目が製版（親油性・親水性の強化）、三つ目が刷りとなります。リトグラフの原理としては、水と油が互いに反発し合う性質を応用した、科学的な印刷技法です。具体的には、石版やアルミ板の表面に、脂肪性の描画材（リトペンシル・解墨等）で描画します。その後、版面全体にアラビアゴム液（酸性液）を塗ると、液中のアラビン酸が作用し、描画した部分は、インクを引きつけやすい→親油性に、描画していない部分は、水を引きつけやすい→親水性に化学変化します。



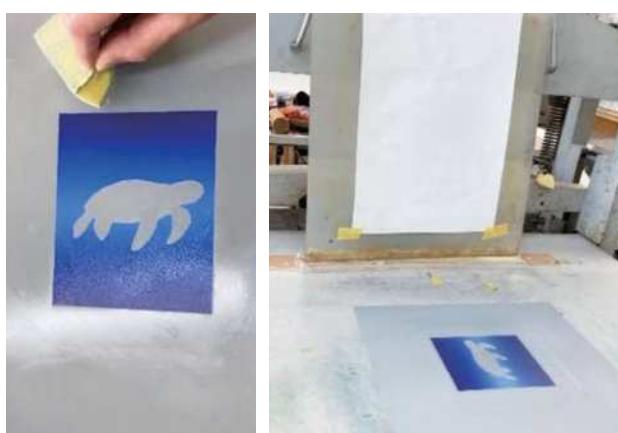
下絵を写したアルミ版にアラビアゴム液を塗ります



リトグラフ版画「ウミガメ」

次に、親油性と親水性に分かれた版面に、水を含んだスポンジで湿らすと、親油性の部分は、水を弾き、親水性の部分は、水を保ちます。

上記の状態でローラーに油性インクを巻き付け、版面に転がすと、絵を描いた部分（画線部）のみにインクが付着し、水で覆われた非画線部はインクを弾きます。この状態で版に刷り紙をのせ、プレス機で刷ると、絵柄通りに紙に写しとられます。



左：ローラーでインク 右：プレス機で圧力をかける様子  
をのせた版

理屈で分かっても、感覚的に把握しづらいのもリトグラフの特徴です。実際やってみると平面なのに版画が刷れる事に不思議な感覚がします。インク仕上がりはとても綺麗に見えるので、グラデーション効果を使ったり、描画材を変えることで多彩な表現が可能です。また、色を重ねて版を作っていくため、最初に刷った色とのバランスを考えながら仕上がりをイメージするので奥が深い版画製法です。また機会があればリトグラフ以外の版画も紹介していきますので、お楽しみに！

琉球海運(株)企画部 長嶺

## 東京支店 備瀬 周

## 赴任レポート



### 東京支店



## 赴任レポート



### 大阪支店



こんにちは、四月一日付で東京支店に赴任致しました。

コロナ禍の影響もあり街の賑わいは以前のようにまで戻っていない（らしく）、まだ本来の東京を経験できていない備瀬 周です。（東京五輪も中止にならないか心配です）

東京支店では、コロナ感染対策や感染発覚時の事業継続に備え、三月

～六月間に時差出勤や、在宅勤務（二チーム・三チーム制）と段階的に導入、実施してきました。六月末時点、東京アラートは解除されており

ますが、連日の感染者数は一桁台のため、依然として感染予防に取り組んでいます。

赴任して早三ヶ月が経ちますが、東京生活にも新しい生活様式にも慣れてきたところです。業務に関しては入社から四年間勤めていた総務部から、全く違う業務内容に苦戦しつつ、東京支店の優しい先輩方に支えていただきながら日々勉強中です。

一日でも早く琉球海運並びにRKKグループのお力になれるよう努めて参りますので、皆様のご指導ご鞭撻のほど宜しくお願い致します。

皆さん、ここにちはいかがお過ごしでしょうか。私は、「地下を歩いて電車で通勤する自分凄い！」と感じる日々です。

どうも、四月一日付で大阪支店に赴任致しました玉城 紋華です。

着任早々に緊急事態宣言が発令され、支店全滅リスクを回避すべく、二拠点出勤・時差出勤・在宅等の勤務形態でしたが、六月現在は、時差出勤を残し、通常の勤務形態に戻りつつあります。

入社七年目。本社京阪航路以外の業務をほぼわからずに歳を重ねました。「あらやだ、うふふ。」そんな私ですが、六月から憧れの現場業務を経験させていただいております。ヤードや本船での貨物確認、窓口でのお客様対応や作業員とのやり取り等、色々な方と顔を合わせての業務は新鮮で楽しい限りです。

まだまだわからないことだらけで、教わった業務も完璧にこなせず迷惑をおかけすることも多々ですが、少しでも早く戦力となれるよう頑張る所存ですので、今後とも皆さまの暖かいい目でのご指導・ご鞭撻をいただきたくよろしくお願い致します。

最後になりますが、私はここ大阪でかりゆしウェアをさも当然のように着用しています。「かりゆしですか何か？」という顔が着用時のポイントです。皆さまのかりゆしウェアでの出張も心よりお待ちしております。また、「せっかく本土にいるなら○○行きなよ！」を絶賛募集中です。○○をお持ちの方は是非ご一報下さいませ。

## 大阪支店 玉城 紋華

## 福岡支店 山川 晋徹



# 福岡支店



RKK LINE… !!!



※赴任レポート記事内容は6月末日時点(現在の感染症対策内容とは異なる部分があります)

## 新任挨拶



営業部外航課  
課長代理 清水 進

この度 4月1日付で契約社員として採用いただきました清水進と申します。皆様どうぞよろしくお願ひいたします。

神奈川県は横浜港の後背地に当たる本牧という町に生まれて育ちました。沖縄の美しい海には遠く及びませんが、海の近くに生まれ（と言ってもふ頭ですが）遊びも学びも そして仕事においても、海ぎわで約半世紀の年を重ね現在に至ります。前職では香港のOOCLというコンテナ船社に26年間お世話になり、昨年11月に家内と共に沖縄市に引っ越しして参りました。歴史と伝統のある琉球海運で働かせていただく事は、私にとってこの上もない喜び且つ誇りです。微力ではございますが、一日も早く会社のお役に立てるよう日々の業務に努めて参りますので、今後ともご指導の程よろしくお願ひいたします。

## 赴任レポート

四月一日付で福岡支店に赴任致しました山川晋徹です。入社一年目以来、四年ぶりの福岡支店勤務となります、本社では四年間営業部に所属しておりました。

コロナ禍での異動となり多少の不安もありましたが、福岡支店の諸先輩方に温かく迎え入れて頂き安心しております。

転勤早々に在宅勤務となりましたが、早いもので赴任からもう三ヶ月が経ち、少しずつではございますがブッキング業務も任せられ、日々悪戦苦闘しながら元気に仕事に励んでおります。

博多航路では来年、新造船の就航、RKK博多港総合物流センターの開設などが予定されており、このような時期に赴任出来る事に感謝し、一日でも早く信頼され、皆様の力になれるよう励んでまいりますのでご指導、ご鞭撻の程よろしくお願い致します。

追伸・福岡はご飯が美味しいですがダイエットも仕事同様頑張ります！（大丈夫かな…）

## 不定期船部門特集 ~大好きなソバを食べていることに感謝~

7月31日、若手社員を対象とした不定期船の荷揚げ作業の見学会が行われました。那覇港に停泊している499船「優昭丸」の小麦荷揚げ作業を、営業部不定期航路担当である崎山主任の案内のとも見学しました。参加したメンバーは主に企画部やグループ戦略室配属の職員で、クレーンを使っての荷揚げ作業の見学はRORO船の荷揚げ作業とは異なっており、とても良い機会になりました。



那覇港にて事前説明を受けるメンバー クレーンで小麦をすくい出していく様子

小麦の総トン数は1400屯余。  
2日間かけて荷揚げします

### ●小麦輸送の大まかな流れをご紹介！



#### ①日本政府が小麦を買い付けます

小麦は北米（アメリカ、カナダ）などから日本各所（千葉、大阪、博多など）へ外船輸送



②外船が日本についてからがRKKのお仕事。外船からRKK499船にトランシップ（積み替え）を行います  
(写真：博多でのトランシップ作業の様子)



③那覇港に揚げ荷役、沖縄製粉さんへ納品されます

④沖縄製粉(株)さんから関係各社へ、そして、パン、麺、菓子へとして出荷されます

## RYUKAI SPORTS 琉球物流(株)さんとの懇親野球

去る7月10日(金)にセルラースタジアムで琉球物流様と懇親野球試合を行いました！2時間という時間制ルールのもと試合は5回まで行うことが出来ました。それでは早速、試合を振り返ってみましょう。

「安全第一」を合言葉に、ケガに気を付けながら行われた試合は、先攻：琉球物流(株)様、後攻：琉球海運でプレイボール！お互いにエラーも四球も少なく、息もつかせぬ投手戦のゲーム展開となりました。

気になる結果は……2対1で琉球海運の勝利！琉球物流(株)さんの鋭い攻撃に苦しめられる場面もありましたが、野球経験者である新入社員バッテリーを中心に守り勝つ野球が出来ました。攻撃では、Y課長代理の2打席連続でのデッドボール（ナイスガットでした！）を中心に、全員野球で数少ないチャンスをものにすることが勝利につながったように思います。

試合後にはお互いの健闘を称え合い記念撮影！琉球物流様、お忙しい中本当にありがとうございました。また、琉海メンバーもお疲れ様でした。



### 第162回 三ヶ月会コンペ開催

		グロス	ネット
優勝	宮城 学 (湧川運輸)	79	66
準優勝	棚原 開 (琉球海運)	101	70
3位	富里 正治 (沖縄急送)	86	71
ベスト グロス	松本 博雅 (ロジカルサポート)	77	



おめでとうございます！

七月二十五日㈯、沖縄カントリークラブにおきまして、「第十六回三ヶ月会」が開催され、白熱した戦いが繰り広げられました。結果は左記の通りです。

三  
ヶ  
月  
会

## 【写真で振り返る琉球海運 1990年創立40周年記念駅伝】



常務取締役 宮城 勝

当時：営業部定航部付  
先島共同運航那覇本部兼務



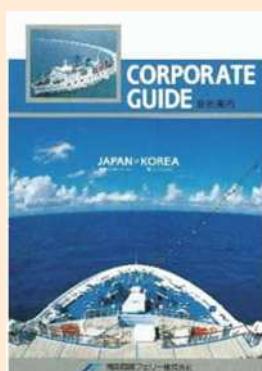
創立40周年の記念日、1990年1月23日に本社前にゴールした記念駅伝。この駅伝はその前年1989年と1990年の2回実施しました。きっかけは1988年暮れの飲み会だったと記憶しています。

若手社員の飲み会の場で、駅伝企画で盛り上がり、早速、企画書を作成。総務部へ提案し実行する運びとなりました。

当時、創立記念日は10時30分から記念式典が開催されていたので、その前にゴールするよう時間を設定しました。前日、22日の21時頃、寒くて真っ暗な辺戸岬をスタート。スタートメンバーで担当する名護市までは深夜なので行き交う車もなく、真っ暗な中、ランナーを前にして伴走車ライトを頼りに走った記憶があります。

その後、未明から早朝の名護市/北谷町を海上職員。朝8時頃、そこから会社までを陸上職員でタスキをつなぎ走ります。最終ランナーはその年に定年を迎える職員としました。40周年の1990年は総務部の計らいで、予算を多くいただき、あそろいのウェアでの駅伝となりました。（ゴール写真右側職員着用）最終ランナーの高安氏もそのウェアで待機していたのですが、タスキを受ける直前にそれを脱ぎ（一同ア然）写真の姿でのゴールとなりました。その頃、本社前の道路は少し先で寸断され交通量も少なかったこともあり、一車線を潰して、待ち受ける社員全員に出迎えいただき、拍手を受けながらのゴールとなりました。

### 【この年の出来事】



福岡国際フェリー、福岡/麗水(韓国)の国際定期航路開設



当社最後の貨客船「わかなかつおきなわ」起工式